

プラスチックとプラスチックリサイクル

解説と解答 プラスチック・リサイクル編 リサイクルマップを作ろう

ワークシートの目的 市町村のルールでは、資源ごみとして集められていないものでも、スーパーマーケットやコンビニなど、さまざまな店舗で資源ごみを集め、リサイクルを進めています。
ここでは、生活圏内のリサイクルボックス(資源ごみを回収する場所 容器)を調べ、地図に書き込ませることにより、リサイクル参加への意欲と参加に必要な情報取得を行います。

授業の流れ

導入

最初に、資源ごみ回収の説明をします。町内のごみ収集場所にある資源ごみ回収だなやコンビニの回収ボックスの話などを、ワークシートのイラストに基づいて説明します。

時間の目安(5分)

調査

子どもたちの住まいの地域別に班編成をし、班ごとにタウンウォッチングをさせて、イラストのように資源ごみを回収している施設を書き込ませます。(リサイクルマップの作成)
その際、それぞれのリサイクルボックスの使用状況(回収頻度、回収量など)を分かる範囲でお店の人などに聞き取りをさせます。

発表

班ごとにリサイクルマップを発表させます。
その際、それぞれのリサイクルボックスの使用状況についても報告させます。

時間の目安(40分)

指導のポイント

自分の身近なところに資源ごみの回収場所がたくさんあることを認識させる
リサイクルボックスの活用によるリサイクルへの参加意識を持たせる

データ・関連資料

プラスチック図書館(私たちが出すごみ) 日本容器包装リサイクル協会HP(容器包装リサイクル法なぜ?なにリサイクル)
PETボトルリサイクル推進協議会HP(ペットボトルリサイクルをもっとくわしく)
発泡スチレンシート工業会HP(発泡スチロール食品容器とリサイクル) 発泡スチロール再資源化協会HP(発泡スチロールのリサイクル)

このワークシートには解答はありません。生徒への説明については、上記のデータをご活用ください。